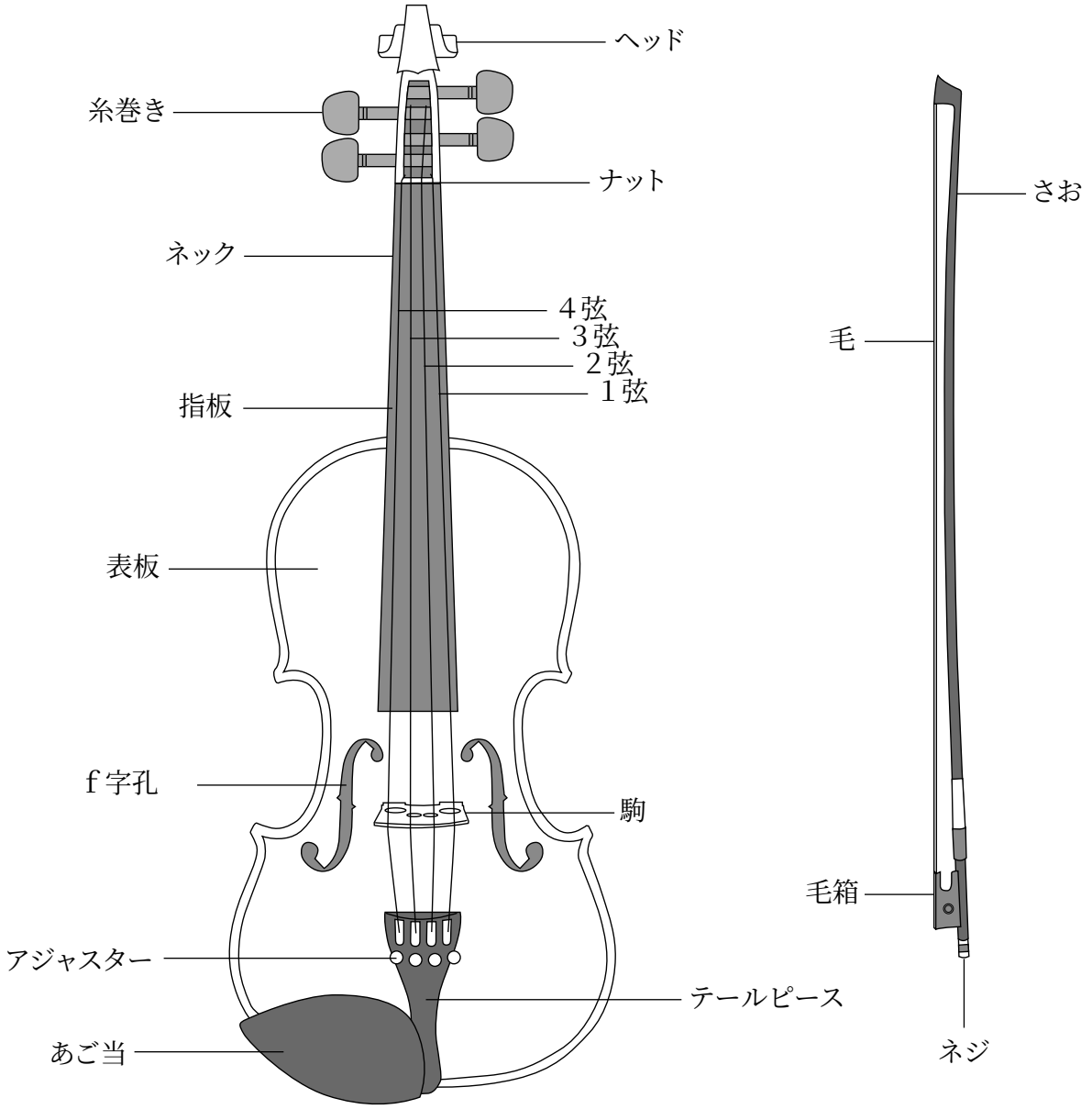
STENTOR 弦楽器　取扱説明書

キクタニミュージック株式会社

この度は弊社STENTOR製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく、安全にお使い頂く為に、この取り扱い説明書を最後までよくお読みになってからご使用下さい。
末永くご愛用いただけることを、願っております。

1、各部の名称



品番	製造番号
ふりがな ご氏名　　様	
ご住所　〒　　- TEL(　　)　　-	
お買上げ日　　年　　月　　日	
販売店名	

保　証　書

■下記の通り保証いたします。
(1)万一、保証期間内(お買上げ6ヶ月)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買上げ店にお申し出下さい。
(2)この保証書は再発行いたしません。
(3)下記の場合は保証期間中でも有償修理となります。
　(a)取り扱い等の誤り、および不当な修理や改造による故障の場合。
　(b)天災地変等による故障・損傷の場合。
　(c)保証書の所定事項の未記入、捺印もれ、あるいは字句を勝手に訂正された場合。
　(d)外国で使用された場合。
(4)ご贈答の場合は販売店でご相談ください。

キクタニミュージック株式会社
〒488-0054 愛知県尾張旭市稲葉町2-120-1
TEL (0561)53-3007 ㈹
FAX (0561)53-1741

2、セットアップ方法

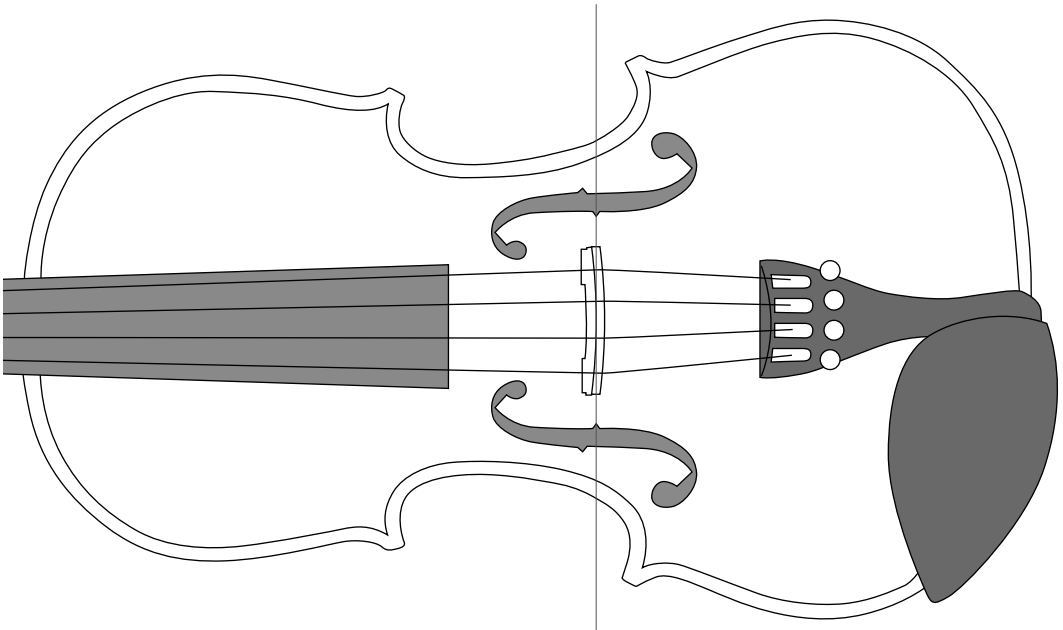
・弦の巻き方
弦が乱雑にならないよう、それぞれの弦を外側へきれいに揃えて巻いてください。糸巻が堅い時は外側へ少し引きながら回し、又、逆に糸巻が戻ってしまうときは内側へ押し込みながら回してください。

・駒の立て方
左右のｆ字孔のまん中に表板に対して垂直に立ててください。弦を巻いていくとだんだん前方に傾いてきますので、時々戻しながら弦を巻いてください。駒は大変割れ易い構造ですので気をつけて下さい。
駒の高い方が一番太いG線(4弦)側です。

・弓の使い方
ネジを回して毛をはります。弓のまん中辺りで、7mm～10mm位の隙間があるのが適当です。張りすぎますと、弓が折れるなどのトラブルが起きやすくなりますのでご注意ください。使わないときはネジをゆるめておいてください。

・松脂(ロジン)の使い方
新しい弓に初めて松脂をつけるときは、たっぷりと付けてください。特に寒いときは付きにくいので少し暖めながらしっかりと付けてください。それでも付きにくい時は松脂の表面を紙ヤスリで少し削ってから付けてください。足りないと弓が滑って音が出にくくなります。一度松脂がしっかり付けば次回からは楽に付くようになります。

■バイオリン・チェロ・コントラバスのブリッジの立て方
・図のそれぞれの位置関係をよく見てブリッジを立てて下さい。



・弦を張っていくとブリッジがだんだんネック側に傾いてきますので、ブリッジを戻しながら弦を張っていきチューニングして下さい。